

ガルバナイトNo.400プライマー

2012年8月
No. 8231

タイプ	亜鉛メッキ面用エポキシ系プライマー																											
特長	①亜鉛メッキ面との付着性が優秀 ②耐薬品性が優秀 ③厚膜塗装が可能(40 μ m) ④特にウレタン系上塗り塗料との適合性が優秀																											
用途	亜鉛メッキ面の下塗り用																											
塗料性状	混合比率(質量比) ・ 主剤：硬化剤 = 4：1 色 ・ ・ ・ ・ ・ 白 密度 ・ ・ ・ ・ ・ 1.38 g/mL (ISO:2811) 容量NV (VS) ・ ・ 47 \pm 2% (ISO:3233) 重量VOC ・ ・ ・ ・ 35.0 wt% (Method24) 塗付量(理論値) ・ ・ 88 ~ 147 g/m ² 膜厚 ・ ・ ・ ・ ・ ウェット 64 ~ 106 μ m ・ ・ ・ ・ ・ ドライ 30 ~ 50 μ m																											
乾燥時間	指触硬化	5 $^{\circ}$ C 3.5時間 34時間	10 $^{\circ}$ C 2.5時間 24時間	20 $^{\circ}$ C 1.5時間 14時間	30 $^{\circ}$ C 1時間 10時間																							
塗装間隔	最短 最長	34時間 14日	24時間 14日	14時間 14日	10時間 14日																							
可使時間	・ ・ ・ ・ ・	34時間	24時間	14時間	10時間																							
熟成時間	・ ・ ・ ・ ・	30分	30分	15分	—																							
塗装条件	塗装方法 ・ ・ ・ ・ ・ エアレススプレー、はけ塗り 気象 ・ ・ ・ ・ ・ 温度:5 $^{\circ}$ C以上、湿度:85%RH以下 エアレススプレー時 ・ 適正粘度：(Fc#4) 55~65 秒 ・ チップ No.：(GRACO) 719, 619 ・ 二次(塗料)圧：10.8 ~ 13.7 MPa ・ ガン移動速度：80~100 cm/秒 シンナー ・ ・ ・ ・ ・ エポキシ用シンナー A ・ 希釈率：エアレススプレーの場合 0~10%、はけ塗りの場合0~5% 適合下塗 ・ ・ ・ ・ ・ — 適合上塗 ・ ・ ・ ・ ・ ユニマリン、エピコン上塗HB類																											
使用上の注意	MSDSおよび容器に表示の注意事項を良く読んで取り扱い下さい。																											
荷姿	20kgセット																											
危険物表示	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>【主剤】</td> <td>/</td> <td>【硬化剤】</td> </tr> <tr> <td>消防庁登録記号</td> <td>138001</td> <td>/</td> <td>13840T</td> </tr> <tr> <td>引火点</td> <td>17.5$^{\circ}$C</td> <td>/</td> <td>26.3$^{\circ}$C</td> </tr> <tr> <td>消防法危険物区分</td> <td>第一石油類</td> <td>/</td> <td>第二石油類</td> </tr> <tr> <td>爆発限界(体積%)</td> <td colspan="3">下限 1.1、上限 11.3</td> </tr> <tr> <td>有機溶剤区分</td> <td colspan="3">第二種有機溶剤</td> </tr> </table>					【主剤】	/	【硬化剤】	消防庁登録記号	138001	/	13840T	引火点	17.5 $^{\circ}$ C	/	26.3 $^{\circ}$ C	消防法危険物区分	第一石油類	/	第二石油類	爆発限界(体積%)	下限 1.1、上限 11.3			有機溶剤区分	第二種有機溶剤		
	【主剤】	/	【硬化剤】																									
消防庁登録記号	138001	/	13840T																									
引火点	17.5 $^{\circ}$ C	/	26.3 $^{\circ}$ C																									
消防法危険物区分	第一石油類	/	第二石油類																									
爆発限界(体積%)	下限 1.1、上限 11.3																											
有機溶剤区分	第二種有機溶剤																											
備考	①下地処理等については最寄の弊社営業所にお問い合わせ願います。 ②塗料密度、容量NV(VS)、VOC量は、製品サンプルの実測値です(無希釈)。																											

本製品説明書に記載されている使用条件、使用上の注意事項等を逸脱した使用により生じる品質の異常は使用者の責任にて対応願います。当社が指定する以外の塗料、添加剤等を混合すると、単に品質の異常をきたすのみならず、安全上の問題が発生することもありますので、使用者の責任において安全性、品質等を確認願います。